

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902504		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームユニティー旭神(こはく館)		
所在地	旭川市旭神2条4丁目10番4号		
自己評価作成日	平成29年1月	評価結果市町村受理日	平成29年1月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の心と身体の健康が維持され、入居者様本位で考え「できる事」を少しでも長く継続が出来るように支援をし満足できる生活を送っています。また、地域での行事や親睦会に参加をしており、散歩をして地域の方と挨拶を交わしています。  
平成25年より続いているノンアルコールデイも2か月に1度おこなっており、お酒が好きな方は特に喜んでおります。昨年は開設10周年を迎え、入居者様と一緒にお祝いしました。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成29年1月13日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旭川市郊外の新興住宅地にあり、バス停から徒歩1分と近く、通りには大型スーパーや菓子店、コンビニエンスストアなどがあり利便性に優れている。建物は3階建てで2～3階がグループホーム、1階がデイサービスとなっている。共用空間は広く清潔で、畳敷きのコーナーもあり、快適に過ごすことができる。居室も、ベッドやたんすの他に、机や本棚など利用者が馴染みのものを持ち込んでいる。法人が全国的に介護施設を運営し、各種の書式やマニュアル、契約書類、研修などが整っている。職員間のコミュニケーションも良好で、互いに意見の言いやすい関係を作っている。地域との関係では、町内会の「芸能の集い」に3～4名の利用者と一緒に参加したり、事業所の行事に地元のよさこいソーラン踊りや旭神太鼓のチームが来るなど交流が活発である。家族に対しては、毎月ユニティー旭神通信や個人毎のお便りで利用者の様子を詳しく伝えている。ケアマネジメントの面では、昨年から「焦点情報」に関するアセスメントシートを充実させ、日々の記録も介護目標を意識して記入している。食事の面では、利用者の希望を聞きながらユニット毎に献立を立て、利用者も調理や後片付けを手伝っている。外出支援では、多くの利用者が日常的に周辺を散歩し、年間行事でも時には遠出をして利用者が楽しめるようにしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『地域活動への参加を積極的に支援し地域に根差したサービスを提供』という事業所理念を掲げ職員間で共有しています。	事業所独自の理念と運営方針を定め、共用部分に掲示している。運営方針には地域密着型サービスの意義を踏まえた文言を入れている。一方、職員の理念や運営方針の共有は十分といえない。	理念や運営方針の文言や意義を定期的に確認し、職員の理解が深まることを期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し資源ゴミへの協力や、町内清掃活動をおこなっています。	町内会の「芸能の集い」に3～4名の利用者と一緒に参加している。事業所で行う盆踊りに地域住民の参加を得ており、地元のよさこいソーラン踊りや旭神太鼓のチームが踊りや演奏を披露している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域に向けての勉強会は開いていませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、開催し町内の方、ご家族からの意見を取り入れています。	運営推進会議を2か月毎に開催し、地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員、利用者家族の参加を得て意見交換しているが、活動報告が中心となっている。議事録を家族に送付している。	会議のテーマを年間を通して計画的に設定し、テーマに沿った資料も用意するなどして、より充実した意見交換の場になることを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	9月に実地指導を受けてサービス内容の確認をしております。	運営推進会議に地域包括支援センターの参加があり、情報提供を得ている。管理者が交代して間もないこともあり、質問事項があれば市に直接出向き、各種手続きについて相談している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の議事録は職員が目を通すようになっています。ベットからの離床で転倒の危険がある方には赤外線センサーを設置しています。	禁止の対象となる具体的な行為を記した身体拘束のマニュアルが整備され、内部研修等で確認している。事務所には禁止項目を示したものを掲示している。各ユニットからエレベーターホールへは自由に出入りが出来、玄関も日中は施錠していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止等は委員会や講習参加者の報告書を回覧し確認しています。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	『成年後見制度』の講習案内があれば参加の呼び掛けをし学ぶ機会を持ちます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規契約があり、契約時にはご家族の理解を得られたと思います。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や職員にも気軽に話していただけるように面会時にはご家族とのコミュニケーションをはかっています。	家族の来訪時や運営推進会議の場で家族の意見を得ている。家族からの意見は「連絡ノート」や「家族談話表」に記載し、共有している。また、毎月、ユニティー旭神通信や個人毎のお便りで利用者の様子を詳しく家族に伝えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ユニット会議をおこない意見があれば実践しています。	月1回、ユニット毎の会議を行い職員が活発に意見交換している。年2回、管理者と職員の面談もを行い、個人目標などを話し合っている。職員はお便りの作成や行事を交替で担当したり、衛生管理の委員となり運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護現場に入り一緒に働き、職員の勤務状況を把握し職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の参加や外部研修にも参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームとの合同で事例検討や救命講習を開催しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	12月に1人入居された方がおります。本人の言動や表情を気にかけて安心できるように心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来館時や電話でご家族の言葉を傾聴し良好な関係が保てるように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の意見・状態を見て一番良い支援を心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の気持ちを聴き一緒にできる事(食器拭き・タオルたたみ・畑仕事等)をおこなっています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には行事や日頃の様子をお伝えし、会話でご本人と共に過ごす時間が持てる様に支援しています。これからのケアも相談し一緒に考えていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人と外出をする方には本人の状態をお伝えし、外出の支援をお願いしています。	3名ほどの利用者に知人や友人が来訪しており、中には友人が利用者の通院支援を行っているケースもある。利用者が知人に電話をする際は支援している。行きつけの美容室や、近くのパン店、お墓参り、花フェスタなどに出かけることもできている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	様々な状態の方がいる中で、歌を唄える場を作ったり、お喋りをしながら洗濯物をたためる場を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	平成20年に退去された方とは電話・年賀状のやり取りをしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	言葉も少なく無表情になってきた方には、笑いかけ・話しかけ・寄り添い少しでも表情に変化が出るように努めています。	思いや意向を言葉で表出できる方は半分程度で、難しい場合も表情や仕草などから把握している。センター方式の「焦点情報」のシートを更新し共有しており、生活歴等の情報も充実する方針である。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族・本人より伺っています。『出来る事・出来ないことシート』で経過を見えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録には本人の言動も記し職員間で共有しご家族にはひと月の様子を『今月の様子』として渡しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族には面会時や電話で報告と次回のケアプランを説明し意見を伺っています。ユニット会議で職員の考えも入れてケアプランを作成しています。	介護計画を3か月毎に更新している。更新時に評価を行い、見直しの経緯をミーティング記録に示している。今後、経緯の記録をさらに整備する方針としている。日々の記録に計画目標を印刷し、実施状況や利用者の様子などを記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	『ケース記録』に個別の記録をしてケアの実践状況をわかる様にしているのと緊急性・重要性のあるものは『業務日報』の日中の様子・夜間の様子に個別に記載しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設のデイサービスの催しに呼ばれて交流を図っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の催しに参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医はご家族と本人の希望に沿うようにしています。	2つの協力医による月2回の往診があり、その他の通院も概ね事業所で通院支援している。受診内容は利用者ごとに「特記事項」の用紙に記載し、職員間で共有している。受診に関して家族に連絡した場合は「家族談話表」に記載している。	

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による週一回の健康チェックがあり、常に連絡できる体制になっており、体調の変化に応じて報告し指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介添書を作成して申し送りをおこなっています。入院中も様子を伺いご家族の意向を聞き取って介護・看護につなげています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時は医師と家族とホームとで話し合っています。今回は口からの食事がとれず家族の意向で胃ろうにする為退去された方がいます。	利用開始時に、看取りの際の支援内容や医療連携体制を示した「重度化した場合における(看取り)指針」を説明し、同意を得ている。過去に1名の看取りを経験しており、今後も事業所としてできる範囲の対応を行う方針としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の対応マニュアルは見やすい所に提示しています。近隣ホームの方と一緒に救命講習を受けています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練(年2回)おこなっていますが地域の方とは都合が合わずおこなっていません。	年2回、昼間を想定した避難訓練行っているが消防の指導や地域の協力は得ていない。職員の救急救命訓練を行い、災害時の備蓄品も用意している。地震や水害等のマニュアルは整備中である。	避難訓練に消防や地域の参加を得ること、年2回のうち1回は夜間を想定した訓練を行うことを期待したい。また、地震や水害等、火災以外の対応について、マニュアル等に沿って職員間で定期的に確認することを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出来る事・出来そうな事・出来ない事を見極めそれぞれの場面で不快にならないように伺いながら支援しています。	年に2回接遇研修を行い、声かけには特に注意し、利用者の尊厳を傷つけないように配慮している。利用者が聞いている時は、名前をイニシャルで話すようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・要望を伺って返答に困っているようなら二者選択出来る様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調に合わせて本人にどうしたいのか? 伺って毎日を過ごしています。(入浴の順番や口腔ケア等)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	脱衣所に櫛を用意し整髪出来る様にしています。毎日リップクリームで唇を保護しています。男性はシェーバーを渡し毎朝髭剃りが出来る様子を支援しています。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	収穫した枝豆の豆を取り、茹でた後はすりつぶし、ご飯をこねてずんだ餅を作り美味しく頂きました。	職員が利用者の希望を聞きながらメニューを作成している。敷地内で栽培した枝豆や豆を食卓に出したり、外食の機会を設けたり、誕生日には近くのケーキ屋さんにケーキを買いに行くなど食事が楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量はチェックしており不足しないように気をつけています。お茶が進まない方にはゼリーを提供することもあります。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの介助・見守りをしています。先に出来る事をしていただき最後は職員が仕上げ磨きをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自力で立てない方には2人介助でトイレでの排泄をする機会を作っています。時間をみながらのトイレ誘導もおこなっています。	3分の1の方は自立しているが、それ以外の方は排泄パターンを把握し声かけ誘導している。日中はトイレでの排泄を基本としている、夜間は個々の状態に応じた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、起床後にヨーグルトを摂取したり、食物繊維を多めにとるように心掛けています。排便を促す為に体操や歩行運動もとりにれています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴剤を入れ楽しんでもらったり、本人の希望に合わせてゆっくり入っていただいています。拒否がある方には翌日に延ばしたり順番を変えたりタイミングを図ってお誘いしています。	基本週2回の入浴支援を行っている。日曜日以外毎日入れるようになっているので、拒否する人や体調が悪い人は翌日入れるようになっている。状態によっては2人介助や同性介助を希望する人、一人でゆっくり入りたい人、それぞれ利用者の希望に沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファで昼寝をされたり午後より居室にて休まれるなど自由に過ごしていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	正確に服薬できるように見守り介助し身体状況の変化に注意を払っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌の好きな方に唄っていただいて周りの方も参加して一緒に歌ったり、コーヒーの好きな方には飲みたい気分が聞き提供しています。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	友人との外出や「パンが買いたい」との希望でスーパーへ出かけています。天気の良い日は散歩にいきます。	夏場は近所や公園を散歩したり、個別に買い物に出かけたりしている。月に1度は外出計画をたて、科学館、北彩都ガーデン、大雪湧水公園などに出かけたりしている。また外食の機会も多く取り入れ、外に出かける機会を作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	「お金」という理解が薄れてしまい、本人がお店でお金を渡したり(事前にスタッフが渡している金額)お釣りを受け取る事に不安な顔を見せたので今はしていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたいと希望があればすぐに対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温・湿度は1日2回確認し調整しています。季節ごとにリビング内を一緒に飾り付けています。	共有空間は広く窓も大きく採光も十分に入り明るく快適である。、床に木材を使い入口の戸は格子戸になっており、暖かみを感じさせる。室温、湿度も適宜管理されている。対面式の台所と事務室から利用者が見え、利用者の様子が伺えるような作りになっている。利用者と一緒に季節に合ったものを作りし、季節感を出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人掛けソファで童謡を聞いたり、和室では仲の良い方と洗濯物をたたまれています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇や人形を置いたり、家族の写真を飾っています。観葉植物も育てています。	クローゼットとカーテンが備えられており、ベッドは介護ベッドをレンタルしている人や、各自で持ち込んだりしている。家族の写真を飾ったり、テーブル、椅子、本棚、テレビ、タンス、仏壇など各自好きな物を持ち込み、居心地のよい空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー作りなので入浴時の移動や車椅子での自操など自分の力で出来る様に支援しています。トイレ戸に「トイレ」と表記しわかりやすくしています。		



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902504		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームユニティー旭神(さんご館)		
所在地	旭川市旭神2条4丁目10番4号		
自己評価作成日	平成29年1月	評価結果市町村受理日	平成29年1月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の心と身体の健康が維持され、入居者様本位で考え「できる事」を少しでも長く継続が出来るように支援をし満足できる生活を送っています。また、地域での行事や親睦会に参加をしており、散歩をして地域の方と挨拶を交わしています。  
平成25年より続いているノンアルコールデイも2か月に1度おこなっており、お酒が好きな方は特に喜んでおります。昨年は開設10周年を迎え、入居者様と一緒にお祝いをしました。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年1月13日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域活動への参加を積極的に支援し地域に根ざしたサービスを提供します、という理念を掲げ職員間で共有しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、資源ごみの協力に参加したり、町内のイベントへは参加できるようにしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々へ積極的に行っていませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、開催し町内の方、ご家族からの意見を取り入れています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	9月に実地指導をうけてサービス内容の確認をしております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については社内に委員会があり、会議等又は資料等を通して情報を共有しています。離床時に転倒の危険がある方には赤外線センサーを設置しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止は委員会や講習参加者の報告書を回覧し確認しています。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	講習案内があれば参加の呼びかけをし学ぶ機会をもちます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規契約時に契約書・同意書の説明をし、質問を受けながら行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日ごろから入居者様との話を汲みとり、面会時にはご家族とのコミュニケーションを大切にしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行っているユニット会議で話し合いを行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	6月・11月の人事考課時に面談を行い勤務環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(3か月・1年・2年・主任・管理者)研修を社内で行っています。また外部研修も職員に回覧し参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームと合同で事例検討や救命講習を開催しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	9月に入居されていますが、ご家族からの情報を含め入居前・入居後の行動や発言を観察しながら安心していただけるように関係を作っています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者様の状況を面会時や電話等で報告し安心して話していただけるように心がけています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報収集を含め、現在の入居者様の様子・変化を一番に考え介護計画に反映させています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の持つ力や考えを出せる機会を作り、生活の中に反映させています			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的なお手紙や面会時のお話等、色々な面から考えられるようにお話できる機会を作っています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様のご主人が毎日来館して下さいます。デイサービスへボランティアとして参加し、顔なじみの方との交流も行っています。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	色々な性格や本人の状況の中で、職員が間にはいりコミュニケーションをとったり入居者様の希望を聞いています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された入居者様のご家族より年賀状が届いています。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	場面に応じて希望や想いを傾聴し、その都度できるだけ優先できるようにしています。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の状況をセンター方式を利用しご家族に協力いただいたり、担当ケアマネージャーからの情報を利用しています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の行動・言動・健康状態等、毎日の様子は介護記録に残し職員間で共有しています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族の希望、要望、意見を尊重し、3か月毎に計画を見直しミーティングで話し合い次に繋げています			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録には、介護計画とともに日中・夜間の状況が分かるように記録していき、職員間で共有し、検討しています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設のデイサービスへボランティアとして麻雀にいかれたりして楽しみがもてる方もいます。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の敬老会への参加や盆踊りへのお誘いをいただきます。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診介助や医療連携の病院での対応もしており、入居者様の訴えや変化がある時に連絡を行っています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による週一回の健康チェックがあり、常に連絡できる体制になっており、体調の変化に応じて指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供をし、ご家族と連絡をとり面会に行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	体調の変化に応じて、医師・ご家族と今後について話し合いをもちます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習への参加や非常時対応マニュアルを用意しています。ホームにAEDも設置しており使い方も学んでいます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を行っています。		

**Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの性格や心身の状態を考慮し、不快な気持ちにならないように配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・意見を聞き、自己選択・自己決定できるような声かけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様ひとりひとりのペースに合わせて声をかけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人・ご家族の希望に合わせて訪問理容を行っています。髭や爪等も配慮し確認します。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしのヒゲとりや盛り付け等、出来る方には手伝っていただいています。お盆を拭いたりテーブルを拭いたり、洗濯物たたみ等できる力を発揮しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食分量・水分量を記録し状態を把握しています。嚥下の様子を見て、とろみを使用したり、寒天での水分摂取の工夫を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの声かけをし、仕上げ磨きの介助を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄ができるように、時間をみて声かけをしたり、行動を観察しながら誘導したりしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や歩行を促し体をうごかすよう声かけを行っています。野菜ジュースや牛乳や食物繊維が豊富な食事も考慮しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の体調や希望を聞き週2回以上入浴できるように案内しています。希望により、時間をずらしたり別の日になることもあります。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調や気持ちに合わせて、居室で休まれたりリビングのソファで休まれたりしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の説明書をファイルに収め、変更が或る時には記録に残して情報の共有をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除が得意な方には、感謝の気持ちを伝えながら一緒に行きます。希望があれば嗜好品を代理購入したり、歌うことで気持ちがすっきりする方もいますので、支援します。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	畑を見に行きたい等の希望があったり、天候をみて散歩に出かけられるよう支援しています。天気が良い日は月1回ですが数人での外出も行っています。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在はご自分でお金を管理されている方はいません。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればいつでも対応できる状況にあります。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気温・湿度を適温に保ち、換気も行います。季節に応じて掲示物や装飾も変化をつけています。3階なので周りに建物が少なく日当たりが良いです。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席は決まっていますが、状況に応じて空いている場所に移動し入居者様同士でお話をすることもあります。のんびりソファで休まれたりすることもあります。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や小物を置いている方も沢山いて、安心されている様子です。お花や写真等、個々に応じて好みの物を置いています。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子使用の入居者様が多いので、安全に移動できるように館内はバリアフリー仕様なと通路に物をおかないように充分配慮しています。全域に渡って手すりも付けられています。			



## 目標達成計画

作成日：平成 29年 1月 26日

市町村受理日：平成 29年 1月 27日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念や運営方針の文言や意義を定期的に確認し、職員の理解が深まる事を期待したい	理念や運営方針の文言を確認し、職員全体に周知されるようにします	毎月のミーティングで繰り返し確認していきます	1年
2	35	避難訓練に消防や地域の参加を得ること、年2回のうち1回は夜間を想定した訓練を行うことを期待したい。また、地震や水害等火災以外の対応についてマニュアル等に沿って職員間で定期的に確認することを期待したい	夜間想定で避難訓練をおこなう。地震・水害等はマニュアルに沿って職員間で周知していく	どちらかの訓練には消防に立ち会っていただき、適切におこなえているか確認をしていただく。地域の方にも参加していただけるように呼びかける。非常災害対策マニュアルを作成し職員間で確認していく	1年
3	4	会議のテーマを年間通して計画的に設定し、テーマに沿った資料も用意する等して、より充実した意見交換の場になる事を期待したい	活動報告のみならずテーマを考え、地域やご家族の方に発信できる場にしていく	興味を持てるテーマを考え意見交換ができる場にしていく	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。